PHPの脆弱性（CVE-2026-109618、CVE-2026-109619）に関するお知らせ

公開日：2026年10月22日
最終更新日：2026年10月22日
重要度：Critical

概要

2026年10月21日、PHPにおいて、リモートからの任意コード実行につながる可能性のある重大な脆弱性 **CVE-2026-109618** および **CVE-2026-109619** が公開されました。

これらの脆弱性が悪用された場合、認証されていないリモートの第三者によって、PHPが動作するシステム上で任意のコードを実行される可能性があります。
当社のセキュリティ情報では、両脆弱性の深刻度を CVSS v4.0 9.2（Critical） としています。

対象となる脆弱性

CVE	概要	深刻度
CVE-2026-109618	Out-of-Memory（OOM）時のメモリ破損に起因するリモートコード実行	Critical
CVE-2026-109619	過去のグローバル状態が残存することに起因するリモートコード実行	Critical

いずれも悪用された場合、リモートの攻撃者によって任意のコードを実行される可能性があります。

当社製品への影響

名　称	型　式	バージョン
蓄電池設備EMSパッケージ	IE-EMS****-***	01.00.00

対策

本製品は、PHPを使用しているため、PHPの提供元およびOS・製品ベンダーが提供する最新のセキュリティ情報を確認し、修正版への更新を実施しております。

更新履歴

日付	内容
2026年10月22日	初版公開